

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	浜松市 家庭教育支援チーム (呼称:親ネットほたる)
活動開始年度	平成15年度
活動拠点	浜松市広沢公民館
活動範囲	浜松市内全域 磐田市内全域 等
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<p><u>6</u> 人 (以下の人数は重複を含めます)</p> <p>日本家庭教育学会認定家庭教育師 1名 心理療法研修所認定心理療法士 1名 静岡県家庭教育支援員 2名 静岡県子育てサポーターリーダー 6名 認定ゲートキーパー 2名 NPファシリテーター※ 1名 浜松市家庭教育ボランティア 3名 主任児童委員 2名 元保護司 1名 外国人子ども日本語指導員 1名 臨床心理士 1名</p> <p>※NPファシリテーターは、親教育支援の養成講座を修了し、認定された者をいい、「Nobody's Perfect“完璧な親なんていない”」というプログラムを使用し、保護者が自分にあった子育ての仕方を学ぶ手助けを行い、又、同年齢の子どもを持ち、共通の興味や関心をもつ人々と出会うことができ、安心できる場を提供する役割を担います。</p>
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他()

☑講座型 <思春期の子をもつ親の支援>

「思春期の子をもつ親の懇談会」開催

- ・年5回開催
- ・講師による思春期の子どもの特徴・対応等の話をもとに参加者が話し合う。
- ・思春期の子をもつ親同士がグループに分かれて話をし、聴くことにより悩みを共有し、気持ちに寄り添い、心を柔らげ楽にする手助けをする。
- ・懇談や経験者の話を聴く中で、自分自身に合った子育てを自分自身で考えるよう気づいてもらう。



平成29年度
**思春期の子をもつ
親の懇談会!**

今年で14年目となる「思春期の子をもつ親の懇談会」は、「親ネットほたる」が主催しています。「親ネットほたる」メンバーが進行役となり、参加者がそれぞれ抱えている悩みや不安、子どもとの接し方を話したり、不登校の子をもつ親の体験談を聞いた上で会を進めていきます。「話す」ことにより同じ悩みを共有、共感することで、きっと心の負担が軽くなるはずです。

～子育ての仲間づくりのためにも、参加してみませんか!!～

「親ネットほたる」は文部科学省の家庭教育支援チームに登録されているボランティア団体です。(活動内容は、文科省のホームページに掲載されています)

【日時】平成29年11月15日(水) 9:30～11:45
【会場】中区広沢公民館2階ホール (浜松市立高校前)
【対象】小・中学生の子をもつ保護者
【参加費】無料
【アクセス】バスをご利用の方は、「浜松市立高校」でお降り下さい。車で来られる方は、事前にその旨をご連絡下さい。

<参加者の声>

同じ悩みを抱えている人がいて、自分の気持ちを理解してもらうことができた。

お互いの悩みを共感しあえる知り合いができてうれしかった。

日頃の悩みを聞いてもらえて、胸につかえていた重みが何となく軽くなったように感じた。

不登校の子どもを抱えた経験談を聞いて、私自身も参考にしてみようと思った。

家庭教育支援チーム

【申し込み先・お問合せ】
参加ご希望の方は、「住所」「氏名」「電話番号」を明記の上、ハガキ・お電話・FAX・メールにて親ネットほたる 代表 川上裕子>宛てにご連絡下さい。
432-8013 浜松市中区広沢3丁目20-4
(TEL&FAX) 053-457-1423 (携帯) 090-4796-5711
(携帯mail) sophyamu@docomo.ne.jp

後援 浜松市教育委員会

「学習会」の開催

- ・親の悩みにあった学習会を定期的に行う
(例:携帯・スマホ講座 子育て講座 子どもの褒め方・叱り方)

☑拠点型 <親の居場所運営>

「ママさんサロン」開催

- ・年6回開催
- ・思春期の子をもつ親の居場所の提供をする。
- ・親同士が自由に話し合える仲間作りの一助を担う。
- ・子育ての先輩としての失敗談や悩みを乗り越えた体験を話して、参考にしてもらう。

<p>活動の成果</p>	<p><懇談会></p> <ol style="list-style-type: none"> 1)話を聴くことにより、悩みを抱えているのは自分一人ではない！！皆同じ悩みを持っている・・・このことを知ること、悩みの共有共感ができ、参加者同士がお互い元気をもらい気持ちを楽にして前に進めるようになっていく。 2)話すことにより、胸につかえていた悩みを言葉にして表現することで、気持ちが落ち着きスッキリした表情が見られるようになる。 3)子どもへの対応の仕方に悩んでいる親は、反抗している子どもの接し方・不登校の子どもへの対応等が、体験者の話を聴くことにより、自分にあった対応の仕方を自分自身で考え行動してみようと前向きになってくる。 4)問題解決の糸口として、子どもを変えようと思うのではなく、自分自身を少しずつ変えていこうと努力する参加者が多くなった。 <p><ママさんサロン></p> <ol style="list-style-type: none"> 1)参加者同士が連絡を取り合い、お互い励まし合う状況が生まれている。 2)誰にも話せない悩みも安心して話せる親の居場所ができている。
<p>活動において苦勞した点や課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1)15年間活動してきたが、「親ネットほたる」の活動が認知されていない所がある <ul style="list-style-type: none"> ・「思春期の子をもつ親の懇談会」は、不登校・いじめ・発達障害等の悩みを抱えた保護者が対象のため、<どんな会なのか・・・参加して安心なのか・・・>不安を抱きながらの参加者が多い。 2)「親ネットほたる」の活動を広報していく手立てが少ない <ul style="list-style-type: none"> ・活動を知ってもらう手立てが限られてしまう。(新聞チラシへの掲載等) 3)活動費の捻出に苦勞がある <ul style="list-style-type: none"> ・運営資金は会員の会費で行われているが、会の存続に不安がある。 ・「助成金制度」を取り入れて会の運営をしていく努力をしていきたい。 4)拠点場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・各月の第3水曜日と決めているが、2ヶ月前にはチラシを作成するので、その日に会場確保が出来るかどうか予約に苦勞している。 ・現在は、一つの自治会から「親ネットほたる」の活動にご理解を頂き、定期的に会場予約を行っているが、将来的に継続出来るのかどうか不安がある。

<p>今後の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「親ネットほたる」の会員は、思春期講座や家庭教育支援員講座を受講した人がスタッフ会員として活動している。懇談会に参加している参加者が将来的に子どもの心配が改善できてきたら、自分自身の経験をもとに「親ネットほたる」の会員として会の運営に携わっていけるような人材を育成していきたい。 ・子育て支援では、子どもに対する手厚い支援は沢山あるが、子どもの親に対する支援はまだまだ少ない。親支援を手厚く出来るよう関係機関との連携に取り組んでいきたい。 ・子どもを健全に育成していくためには親の健全性が求められる。家庭教育の重要性を若い親たちに伝えていく活動をしていきたい。
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)親ネットほたる代表 川上玲子 (TEL) 053-457-1423 (E-mail) sophymamu@kyf.biglobe.ne.jp</p>